

2022年11月4日

各 位

会 社 名	株式会社昭文社ホールディングス
代 表 者 名	代表取締役社長 黒田 茂夫
(コード番号)	9475 東証スタンダード)
問 合 せ 先	取締役管理本部長 加藤 弘之
T E L	0 3 - 3 5 5 6 - 8 1 7 1

2023年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との 差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,280	△480	△470	△490	△26.96
実績値(B)	2,411	△217	△155	△183	△10.10
増減額(B-A)	131	262	314	306	
増減率(%)	5.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,388	△566	△506	△585	△32.23

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上において幾分予想を上回る状況となっておりますが、この主たる要因は第3四半期以降に計画していた一部の受注が前倒しで実現したことによるものであります。損益面においては、市販出版物事業の事業構造改革による売上原価、販売費及び一般管理費の費用削減効果は概ね想定範囲にて推移しており、営業損失の損失幅が予想より縮小している主な要因としては、上記の売上収益増による要因に加えて将来に向けた研究開発関連費用等、一部費用の未執行によるものであります。この結果、営業損失は前回発表予想から2億62百万円改善し、これにより経常損失は3億14百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失においては3億6百万円、それぞれ前回発表予想から改善いたしました。

なお、2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、コロナ禍の収束の兆しが見えつつあることによる事業環境の回復についてはすでに一定程度織り込んだ業績予想となっているため2022年9月16日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以上